

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	5688
部 名	保健所	課 名	保健予防課	課長名	矢島義明
事務事業名	エイズ検査・相談事業				
予算上の事務事業名	エイズ検査・相談事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 保健サービスの充実				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市保健医療計画			個人、家庭、地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを推進するための施策等について計画するもの。	
計画年次	14	年度～	22		
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				
患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者が安心して相談や検査が受けられることによりHIV感染の予防及びまん延防止等を図る。			(2) 対象(誰、何)		
			患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
検査日 毎週火曜日(祝、祭日・12月29～1月3日を除く)午前9時～11時 電話等による随時相談 平日8時30分～午後5時(祝、祭日・12月29～1月3日を除く)					
6 関連・類似事業や他市の状況	横須賀市の実施状況 検査日 毎週水曜日 午前9時30分～11時 第2水曜日 午後6時～7時30分				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	2,216	2,288	2,306	6,491	6,851
一般財源	976	1,001	955	3,246	3,426
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	1,240	1,287	1,351	3,245	3,425
人件費の合計	2,456	2,367	2,381	2,794	2,794
事業コスト合計(a)	4,672	4,655	4,687	9,285	9,645
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名				
	エイズ相談・検査事業			対象名称(単位)	相談・検査実施人数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	2,164	2,262	2,206	6,027	6,027
対象数	543	610	831	1,500	1,500
単位あたり経費(円)	3,985	3,708	2,655	4,018	4,018
前年度比		0.93	0.72	1.51	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	検査実施者数		指標式と指標の説明	検査人数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	241.0	322.0	404.0		
目標	600.0	500.0	500.0	750.0	750.0
目標達成度	0.40	0.64	0.81		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	検査実施者増加率		指標式と指標の説明	対象年度検査実施者数 / 前年度検査実施者数 * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	90.3	133.0	125.0		
目標	100.0	100.0	100.0	150.0	100.0
目標達成度	90.3	133.0	125.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		国内のHIV感染者、エイズ患者の増加は著しく、発症後の発見が顕著である。本年度から実施の土曜日検査について、周知の強化を図り、検査者の増加を図りたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 周知方法についてはより効果のある方策を検討していく必要がある。利用者の利便性を考慮し、平成17年度より土曜検査を実施し成果向上を図る。			14 課題として認識されたこと 検査・相談実施日の周知方法		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			